

とやま 輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上～川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

富山県西部森林組合(南砺市) 水野 千春さん

今回は、富山県西部森林組合砺波支所に所属するトラックドライバーの水野千春さんを紹介します。



水野 千春さん

水野さんは、18歳で運送の世界に飛び込み、現在までトラックドライバーとして活躍されています。4年前、知人の紹介を

通じて森林組合のドライバーになりました。それまで林業とは無縁だった水野さん。伐採の現場を見ることはもちろん、丸太に触れるのも初めてでした。運送業務の経験豊富な水野さんでも、丸太の運送は、これまでとは全く異なる経験したことのないものだったそうです。

材を積込む研修では、先輩ドライバーの厳しい指導のもと、思った通りに操作できない自分に対する悔しさで泣きながら練習したこともあったとのこと。厳しい研修を終え、本格的に運送業務が始まった時のことです。「初めての現場が狭い山道で、目の前が崖という状況に遭遇し、全身の血の気が引いて両足が恐怖で固まり全く動かなくなりました。この

体験は忘れられません。何かあれば現場で作業している皆さんに迷惑が掛かりますから、私にとってこの仕事は毎日が命懸けであり、安全点検も含め、できる限りの準備に努めて臨んでいます。」と真剣な眼差しで教えて下さいました。運転に慣れて危険を感じにくくなった時は、今でもこの体験を思い出して初心に帰るよう心掛けています。

西部森林組合では、ドライバーの操作技術や安全意识、モチベーションの向上を図るため、今年度初めて『トラックドライバーコンテスト』が開催され、水野さんが見事に優勝されました。おめでとうございます！優勝の決め手は、積込実地審査(写真)での的確なグラップル操作と適正な積載重量でした。最後の丸太を積込むか迷っていた時、先輩の助言が聞こえたそうです。助言に従った水野さん、規定の重量に最も近い値を出すことができました。日頃から、困ったときはまず自分で出来ることを考え、先輩達に意見を聞き指導してもらうとのこと。仲間同士の信頼関係がコンテストでの優勝をもたらしました。

最後に「土場に山積みになった材が想定通りどんどん無くなっていく時の感覚がこの仕

事の醍醐味です。トラックを運転することが大好きなので、一日でも長くドライバーを続けられることが目標です。」と最高に素敵な笑顔でお話して下さいました。

木材流通を支える縁の水野さん。ますますのご活躍を祈念しております。



見事優勝!



コンテスト実地審査(積込)

文責 砺波農林振興センター林政・普及班